

- d) 強直間代性けいれん(大発作)は、真性てんかんに特有の症状である。
- e) てんかん治療に使われるフェニトインは、副作用として歯肉が肥厚しやすい。

特  
点

11. てんかんの大発作への対処法として、正しいものを2つ選んで下さい。
- a) 舌を噛むことによる窒息を防ぐため、口腔内にタオルなどを入れる。
  - b) 嘔吐による誤嚥や窒息を防ぐため、ゆっくり仰臥位にさせる。
  - c) 卒倒や転倒による外傷を防ぐため、日頃から環境の整備に留意する。
  - d) 発作の誘因となる過労や睡眠不足などを避けるよう指導する。

12. 神経症の症状について、誤っているものを2つ選んで下さい。
- a) 神経症では、偽痴呆の症状を呈する場合がある。
  - b) 心気症の患者は、身体症状に無関心となりやすい。
  - c) 不安神経症(パニック障害)では、過呼吸発作が起こることがよくある。
  - d) 神経症には原因となる出来事があり、本人はそれを自覚している。
  - e) ヒステリー(解離性障害)の患者は、もうろう状態になることがある。

13. アルコール依存症と嗜癖(アディクション)について、下線①～⑦に当てはまる語を入れて下さい。

- 1) アルコール依存症の患者は、アルコール飲用を中止した2,3日後から約1週間にわたって、① \_\_\_\_\_ として、② \_\_\_\_\_ せん妄をきたすことがよくある。
- 2) 長期にわたる大量飲酒や栄養障害によって痴呆(認知症)が生じる③ \_\_\_\_\_ 症候群の主症状は、④ \_\_\_\_\_ 障害、失見当識、⑤ \_\_\_\_\_ の3つである。
- 3) ⑥ \_\_\_\_\_ は、家族間の葛藤を背景として、主に思春期の女性に起こる病気であり、拒食と⑦ \_\_\_\_\_ を典型的な食行動パターンとするアディクションである。

14. 精神科薬物療法について、下線①～④に当てはまる語を入れて下さい(同じ番号は同じ語です)。

- 1) 抗精神病薬は、主に統合失調症の治療に使われるが、① \_\_\_\_\_ 性疾患にも効果を発揮する。よく使われる抗精神病薬としては、② \_\_\_\_\_ に代表されるフェノチアジン系薬物と③ \_\_\_\_\_ に代表されるブチロフェノン系薬物がある。
- 2) 抗うつ薬としては、④ \_\_\_\_\_ 系のイミプラミン、アミトプチリン、非④ \_\_\_\_\_ 系のマプロチン、ミアンセリン等がよく用いられる。抗躁薬の⑤ \_\_\_\_\_ を与薬する場合は、血中濃度の定期的な検査を必要とする。
- 3) 抗不安薬としてもっとも多く用いられる⑥ \_\_\_\_\_ 系薬物のジアゼパムは、不安、緊張、

次頁あり

257